



Japan Association for Diabetes Education and Care

報道機関各位

日本糖尿病協会 公式キャラクター「マールくん」 LINE スタンプに登場

2017年5月17日

公益社団法人日本糖尿病協会（所在地：東京都千代田区 理事長 清野裕（せいのかずたか／関西電力病院 総長）は、患者さんが毎日の療養生活に少しでも前向きに取り組むことができるよう、コミュニケーションアプリ「LINE」を使った啓発活動を始めます。当協会の公式キャラクター「マールくん」をスタンプ化し、5月17日より販売を開始しました。



マールくん LINE スタンプの一例

■SNS 世代の糖尿病のイメージ向上を目指して

マールくんのスタンプは、全 40 種類。「糖尿病とともに生きる毎日をマールくんが応援します」というテーマで、「HbA1c UP (汗)」「注射した?」「病院へ行こう!」「薬飲みました?」など、糖尿病患者さんの毎日にちょっとしたスパイスとなるようなスタンプを作成しました。患者さん同士はもちろん、患者さんご家族、さらには医療者から患者さんへのメッセージとしても活用できます。疾患啓発以外のフレーズも用意しており、販売価格は、40 種類が 1 セットで 50LINE コイン (120 円) です。

このスタンプを企画したのは、日本糖尿病協会の就労者支援委員会（委員長：中島英太郎 中部ろうさい病院 糖尿病・内分泌内科部長）です。働く世代の就労と治療の両立を

PRESS RELEASE

支援する事業を企画する中、糖尿病の受診勧奨と治療中断阻止を目指す上で、糖尿病のイメージ向上が不可欠と考えたことが発端です。

委員会が中心となり、LINE を活用する若い患者さんから広く意見を集め、クラウドソーシングを利用してスタンプをデザインしました。

■LINE の軽さを利用して就労と治療の両立をソフトに支援

厚生労働省が 2016 年 2 月に策定した「事業場における治療と職業生活の両立支援のためのガイドライン」でも対象疾患に糖尿病が含まれており、働き盛りの糖尿病患者の治療中断阻止は社会的に大きな課題となっています。

糖尿病の治療や療養は長期に亘るため、周囲の理解と支援が不可欠です。そのため、今回のスタンプには、患者さん同士のコミュニケーションのみならず、家族、医療者、友人など、患者さんを支える人たちが利用できるフレーズも多く採用しました。

今後、このスタンプが企業などに拡がり、患者さんの上司や同僚が糖尿病をもつ社員の療養を応援するようなコミュニケーションが生まれれば、治療と就労を両立する環境作りにも貢献できるのではないかと考えます。

日本糖尿病協会は、今年度の就労世代の啓発事業として、今回の LINE スタンプ事業のほかにも、企業経営者を対象とする糖尿病教室の開催や、患者さんに寄り添った治療と就労の両立支援の手引き作成などを計画しています。

■公益社団法人 日本糖尿病協会について

日本糖尿病協会は、糖尿病に関する正しい知識の普及啓発、患者及びその家族への療養指導、国民の糖尿病予防、健康増進への調査研究を行うことを目的に、1961 年（昭和 36 年）に結成されました。現在の会員数は、110,000 人。糖尿病患者とその家族、医師、看護師・栄養士・糖尿病療養指導士などの医療スタッフおよび糖尿病に関心のあ一般市民で構成されています。全国に約 1,600 の糖尿病「友の会」を置き、患者間の交流や、地域社会への糖尿病啓発活動を通じて、日本の糖尿病の抑制を目指しています。

1987 年（昭和 62 年）に社団法人となり、2005 年（平成 17 年）に特定公益増進法人、2013 年 4 月（平成 25 年）からは公益社団法人になりました。

(URL : www.nittokyo.or.jp / facebook : www.facebook.com/nittokyo)

◇本件に関するお問い合わせ◇

公益社団法人日本糖尿病協会 担当：堀田
〒102-0083 東京都千代田区麹町 2-2-4 8F
TEL : 03-3514-1721 FAX : 03-3514-1725
E-mail : hotta@nittokyo.or.jp